## 膀胱全摘除術、尿管皮膚瘻術を受けられる患者様へ

## -入院診療計画書-

泌-16.11-1

	氏名	様_								年	月 日
経過	入院	手術前日	手術 術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3~6日目	術後7日目	術後8~14日目		退院
月日			手術には 時 に行きます								
	手術について理解しましょう		手術後の傷が順調に治るように清潔を保ちましょう     ★スト−マ管理を覚えましょう								
目標	不安なく手術が受けられるように休みましょう		痛みや吐き気、お腹が張るなど辛い症状がある時にはすぐに看護師知らせましょう								
	心配事や眠れない時は看護師に知らせましょう		歩行許可が出たら、頑張って動きましょう								
食事	常食		回診後、お腹の状況によって飲水の許可が出ます。								
			食事・水分はとれません状態によって昼食から開始予定です。								
安静度		手術室には歩いて行きます。歩けない方は移送車で行きます。									
	安静原	帰室後ベッド上安静 回診後に座位可 歩行訓練をします									
排 泄			浣腸をします 排尿のための細い管が2本入ります			ります	練習のために3~4日毎にパウチ交換を行います				
	創部周囲に排液のための管が2本入ります 状態により管を抜きます										
清潔	シャワー浴可		手術室で創部の剃毛をする 場合があります 毎日身体を拭きます ドレーン(創の管)と背中の痛み止めの管が抜けると、 シャワー浴が出来ます。パウチ貼っていてもシャワー浴可能。								
薬	内服薬の確認をします。										
	アが成来の推進のとしよう		医師の指示で  飲水・食事の摂取量状況に合わせ、点滴を減らします								
点滴			時に 背中に痛み止めの細い管が入ります 痛みの程度により管を抜きます。 服薬指導						薬指導		
10 -			薬を飲みます ★痛い時は注射や座薬を使います 内服薬は医師の指示で再開します								
検査	パウチ交換のDVD視聴		1	<b>俊素吸入</b>	<u></u>						
処置	ストーマの位置を決めます		血液検査 心電図モニター装着します								
		5		ア电四に一ク	<b>表有しみ</b> す	_ =			1		
説明	承諾書確認 ストーマパンフレットの説明						パンフレットを参考	にパウチ交換	の練習を  ます		
指導	承諾書唯認 ストーマハンフレットの説明   入院時説明 麻酔科医師の説明				<b>=</b> 6		パンフレットを参考にパウチ交換の練習をします スト-マ装具販売所(ムトウ)との面談があります				
	人的时间的 MH14601107就约			———— 标後説明		へに マ表兵級元が(ムドウ)との国談がめりより ☆医療社会事業部から身体障害者手続きについて説明があります。					
	   特別な栄養管理の必要性 ( <b>才</b> ・ 無		★医師より組織の結果を説明します。								
備考	<u> </u>		40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。								
	平オムツ2枚 T字帯1枚		★状態に応じて、予定が変更になることがあります								
	オープントップ1箱(2個人)		★わからないこと、心配なことは遠慮なく医師・看護師にご相談ください								

主治医	印
— / H	

主治医署名

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者<u>看護師:</u> <u>薬剤師:</u> <u>栄養士:</u>

 薬剤師:

 栄養士: